

会計仕訳自動化ツール 導入検討チェックリスト

チェック項目	チェック内容	Yes / No
業務プロセスの標準化	請求書の受領・処理フローは社内である程度ルール化されているか？	□ / □
請求書の記載内容のばらつき	取引先ごとの記載方法に大きな差があるか？	□ / □
仕訳のルールの特異性	自社固有の管理会計やコード変換ルールが存在するか？	□ / □
現状の仕訳処理の属人性	仕訳入力はある特定の担当者の判断に依存しているか？	□ / □
明細単位の処理	請求書の1枚の中に複数明細があり、それぞれ別の処理が必要か？	□ / □
OCRの課題	OCRで必要な情報が正確に抽出されないケースが多いか？	□ / □
AI活用の可能性	AIを使っても自社のルールや癖にフィットしにくいと感じるか？	□ / □
属人性の排除ニーズ	担当者の異動・離職などに備えて、仕訳処理の属人性を減らしたいか？	□ / □
業務負担軽減の必要性	事業部社員や若手経理にルーチン作業をさせたくないか？	□ / □
新しいツール導入に前向きか	新しいツールやクラウドサービスの導入に意欲があるか？	□ / □

💡 活用アドバイス

Yesが多い場合：従来のツールでは限界がある可能性があります。

「柔軟にカスタマイズできる仕訳支援ツールの検討をおすすめします。」
 特に「**管理会計ルール**」や「**明細単位**」で該当がある場合、
 一般的なSaaSでは対応困難なことが多く、
 業界特化型や対応実績のあるツールをチェックしてみましょう。